

2021年、工芸都市高岡クラフトコンペは、再始動します。

昨年、本コンペは全国公募を中止いたしました。近年の自然災害やコロナ禍は、クラフト作家、ものづくり事業者の活動・発信の「場」を奪っています。またSNSの進化等はものづくりの環境も大きく変えております。

私たち工芸都市高岡クラフトコンペは、優秀なものを集め評価する機構に加え、様々な個性的なものづくりをしている作家たちが繋がり会える装置として機能していきたいと考えます。本年からオンライン化を進め、場を創出し、交流・共感できるコミュニティづくりに取り組み、単年だけではない繋がりとお広がりを生み出します。創造性あふれる意欲的な作品をお待ちしております。

応募から審査、展示まで

出品申込フォームから応募

8/2(月)まで 作品画像、情報を入力
1次審査出品料 (5,000円)



www.ccis-toyama.or.jp/takaoka/craft/

1次審査【画像審査】

作品画像・情報を審査
入選作品を決定

入選(1次通過)者に案内 8月下旬

9/7(火)まで 現物作品の送付
2次審査出品料 (5,000円)

2次審査【作品審査】

現物作品を審査 9/14(火)
入賞作品(以下)を決定

グランプリ(1点) 賞金100万円
準グランプリ(1点) 賞金50万円
審査員賞(5点) 賞金各20万円
奨励賞(高岡市長賞) 賞金10万円
奨励賞(高岡商工会議所会頭賞)
賞金10万円

工芸都市高岡クラフト展

9/23(木・祝)～26(日)

会場: 御旅屋(おたや) セリオ
富山県高岡市御旅屋町101番地

入賞作品の展示とともに、入賞・入選全作品をWEB上で発表いたします。

審査員



大治 将典 おおじ まさのり [審査員長]

手工業デザイナー

日本の様々な手工業品のデザインから、手がけたものに付随するグラフィック、手がけた製品群のブランディングを総合的に手がける。手工業品の生い立ちを踏まえ、行く末を見据えながらデザインしている。
ててて協働組合協働代表。



小林 和人 こばやし かずと

ラウンダバウト・アウトバウンド オーナー

1999年より国内外の生活用品を扱うラウンダバウトを運営。2008年には、ものがもたらす作用に着目する場所アウトバウンドを開始。両店舗の全ての商品のセレクトと展覧会の企画、スタイリングやホテルの家具コーディネートなども手がける。著書に『あたらしい日用品』(マイナビ)、『生活工芸の時代』(共著、新潮社)がある。Instagram @kazutokobayashi



寺山 紀彦 てらやま のりひこ

デザイナー・美術作家

日本にてデザインを学んだ後、オランダに留学。帰国後'studio note'を立ち上げ、プロダクトをメインに内装デザインや店舗アートワーク、クライアントデザイン業務など、多岐に渡りデザイン活動を行う。'21_21 DESIGN SIGHT(デザインあ展、コメ展、単位展、雑貨展)'への参加やギャラリーでの作品展示など、作家としての活動も行っている。



辰野しずか たつの しずか

クリエイティブディレクター・プロダクトデザイナー

英国のキングストン大学プロダクト&家具科を卒業。デザイン事務所を経て、2011年に独立。2017年より株式会社Shizuka Tatsuno Studioを設立。家具、生活用品、ファッション小物のプロダクトデザインを中心に、企画からディレクション、付随するグラフィックデザインなど様々な業務を手掛ける。



Peter Ivy ピーター アイビー

ガラス作家

アメリカ生まれ。富山県在住。2002年今までに想像したことのない経験をしてみたいと思い、日本に移住。愛知教育大学美術教育講座ガラスコースの教授を務める。2007年、富山県に移住し、小さくてシンプルな工房を建てる。2013年、自身の作品の他にスタイリストの高橋みどりさんと器のデザインを考え、「KOBO」アイテムを発表。

主催 工芸都市高岡クラフトコンペ実行委員会

構成団体: 富山県、高岡市、高岡商工会議所、(株)富山県産業高度化センター、(一財)富山県産業創造センター、富山県総合デザインセンター、(公財)高岡地域地場産業センター、(一社)富山県アルミ産業協会、(公社)富山県デザイン協会、伝統工芸高岡銅器振興協同組合、伝統工芸高岡漆器協同組合、高岡伝統産業青年会、高岡商工会議所青年部
事務局: 高岡商工会議所、高岡市産業企画課、高岡市デザイン・工芸センター / 問合せ先: 高岡商工会議所 富山県高岡市丸の内1-40 TEL 0766-23-5002

